

令和 3 年度第 8 回広島県新型コロナウイルス感染症対策専門員会議 提言

令和 3 年 8 月 4 日

1 患者発生動向及びステージ区分の評価について

- 参考指標である直近 1 週間の新規報告者数（人口 10 万対）の速報値は、県全体で 16.3 人とステージⅢの水準（15.0 人）を上回っている。
- その他、入院率がステージⅢの水準にある。
- 先週から今週にかけて新規報告者数が拡大傾向にあり、地域的にみても、面的な広がりが示唆される。
- 過去の経験から、一定の広がりを見せると拡大が止まらないことから、現時点で、ステージⅢの状況にあると判断する。

2 今後の感染拡大防止対策について

- 8 月 4 日からの集中対策による人流の変化を注視する必要がある。
- 長引く新型コロナウイルス対策への慣れ、疲れも懸念されることから、人流が減少しなければ、首都圏や関西圏のように、これまでにない感染拡大となる恐れがある。
- 感染拡大のピークをできるだけ低い水準に抑えるためには、集中対策に加え、人流の抑制と接触の削減を基本とした行動制限や施設の使用制限などさらに強い対策を打つ必要がある。こうした対策が実現する具体的な方策を提示し、粘り強く取り組んでいくことが必要である。
- ワクチン接種の加速化を図り、特に 40 歳から 65 歳未満へ強く勧めること。

3 その他

- 重症化リスクの高い肥満及び基礎疾患を持つ方に特に強い行動制限や感染予防策の適用を導入できる工夫をお願いする。
- ワクチン接種済み証明書のイベント等への活用といったワクチン接種推進のための方策の検討も必要である。
- 医療体制は、宿泊、自宅療養者の健康観察を強化するとともに、保健行政と地区医師会が連携し、オンライン診療を含め、陽性者外来を実施する施設の増加を図ること。